
宮崎県埋蔵文化財センター年報

第 2 2 号

平成 3 0
(2 0 1 8)
年 度

2 0 1 8

序

本書は、宮崎県埋蔵文化財センターの概要と平成29年度に実施した諸事業についてまとめたものです。

当センターは、昭和57年（1982年）10月、宮崎市神宮の地に宮崎県総合博物館埋蔵文化財センターとして発足し、平成8年に県総合博物館から分離独立しました。平成12年には宮崎市佐土原町の現在の本館に新設移転して、国・県等の実施する各種開発事業に伴う事前発掘調査を行うとともに、出土した文化財の整理と保管、収蔵を行ってきました。また、県民の皆様の郷土への理解に役立てるために、分館におけるテーマ展示や出前展示、報告会等の様々な教育普及活動に取り組んでまいりました。

平成29年度は、高鍋町・国富町・都城市で7箇所の事前発掘調査（本調査）を行うとともに、現地調査が終了した遺跡の資料について整理作業を実施し、3遺跡について報告書を刊行しています。また、新発見の古墳や重要な古墳の確認調査と体験発掘等を行う「みやざきの古墳保護・活用事業」を開始し、西都市百塚原古墳群などで古墳群の保護のための確認調査を実施しました。

普及活動に関しては、平成27年度から実施してきた移動展示会「ふるさと発掘！埋文キャラバン」や埋蔵文化財講座「ここまでわかったひむかの歴史」、当センター事業を紹介する施設公開、前年度に実施した事前発掘調査の成果の速報を行う「遺跡発掘速報展2017」などを開催し、郷土の文化遺産である当センターの資料を多くの方々に知っていただくための機会の提供に努めたところです。

今後も、県民の皆様に埋蔵文化財をより身近なものと感じていただけるよう、さらにそれぞれの活動、取組みを充実させてまいりますので、関係各位の御理解と御協力をお願いいたします。

平成30年6月

宮崎県埋蔵文化財センター
所長 長峯勝志

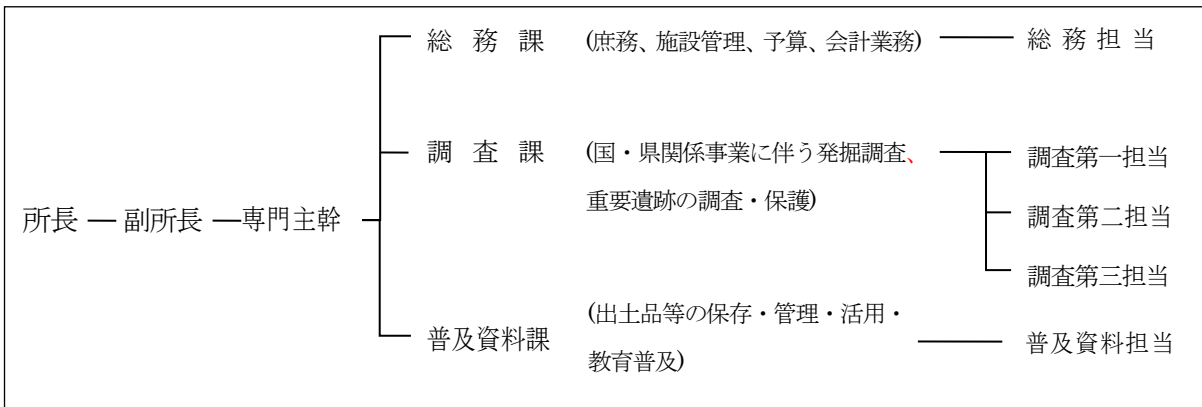
目 次

I	組織・施設	1
1	組織	1
2	施設	2
II	埋蔵文化財センターの沿革	3
III	平成29年度の活動状況	5
1	埋蔵文化財記録保存のための発掘調査	5
(1)	発掘調査	5
(2)	発掘調査に伴う調査指導及び職員の資料調査	6
(3)	出土遺物等整理及び発掘調査報告書の刊行	7
(4)	みやぎきの古墳保護・活用事業	8
(5)	保存処理	9
(6)	収蔵整理	10
2	教育普及活動	10
(1)	移動展示会『ふるさと発掘！埋文キャラバン事業』（文化庁補助事業）	10
(2)	埋蔵文化財講座「ここまでわかったひむかの歴史」	11
(3)	埋文センター施設公開・体験講座	12
(4)	遺跡発掘速報展2017・遺跡発掘速報会	12
(5)	分館テーマ展示	13
(6)	出前展示	13
(7)	出前講座	13
(8)	現地説明会・発掘体験	14
(9)	見学・研修等で訪れた団体およびインターンシップ・職場体験の受け入れ	14
(10)	資料等の提供	15
(11)	職員派遣	19
(12)	埋蔵文化財担当専門職員研修会	19
(13)	広報出版物	20
(14)	ホームページ	20
3	会議・職員研修	20
(1)	各種会議等への参加	20
(2)	共同研究への参加	20
(3)	労働安全衛生関係の講習会等への参加	21
IV	宮崎県埋蔵文化財センター管理規則	22

I 組織・施設

1 組織

(平成30年4月1日現在)



所 長	長峯 勝志	○調査第二担当 (担当リーダー)	
副 所 長	田中 礼子	主 幹	島木 良浩
専門主幹	田方 浩二	主 査	竹田 享志
<u>総務課</u>		(高速道対策局・併)	
(兼) 課長	田中 礼子	主 査	橋本 英俊
○総務担当 (担当リーダー)		主 査	二宮 満夫
副 主 幹	寺原真由美	(高速道対策局・併)	
主 査	山崎 智子	主 査	徳原 宏樹
主 査	赤木 恭子	主 査	恵利 武馬
<u>調査課</u>		(高速道対策局・併)	
課 長	吉本 正典	主 査	後藤 清隆
○調査第一担当 (担当リーダー)		主 事	加藤真理子
主 幹	松林 豊樹	○調査第三担当 (担当リーダー)	
主 査	和田 理啓	主 幹	日高 広人
主 査	宇和田幹彦	主 査	黒木 俊彦
主 査	平井 祥蔵	主 査	高橋 浩子
主 査	高村 哲	<u>普及資料課</u>	
主 査	今塩屋毅行	課 長	赤崎 広志
主 査	甲斐 尚和	○普及資料担当 (担当リーダー)	
(熊本市派遣)		副 主 幹	小山 博
主任主事	沖野 誠	主 査	山田洋一郎
(非常勤職員)		主 査	川越 祐一
埋蔵文化財整理専門員	吉永 和美	(非常勤職員)	
埋蔵文化財調査員	永山鏡太郎	埋蔵文化財整理専門員	貴嶋 活実

2 施設

(1) 本館（宮崎市佐土原町下那珂4019）

本館 2,656,50 m²

①管理棟・調査研究棟（鉄筋コンクリート造一部木造平屋建） 1,745.99 m²

事務室	57.76 m ²
所長室	19.86 m ²
情報処理室	33.17 m ²
会議室	78.52 m ²
休憩室	78.52 m ²
調査研究室	248.55 m ²
復元整理室	293.44 m ²
一次処理室	96.81 m ²
図面整理室	61.62 m ²
写場	64.20 m ²
暗室	12.65 m ²
一次保管室（2層）	188.00 m ²
図書室（2層）	193.88 m ²
荷捌室	43.01 m ²
その他	276.00 m ²

②整理作業棟（収蔵庫）（鉄骨造） 216.76 m²

③収蔵庫棟（鉄骨造） 693.75 m²

(2) 分館（宮崎市神宮2丁目4-4）

分館（鉄筋コンクリート造2階建て） 1,652.38 m²

1階 877.58 m²

一次処理室	121.20 m ²
復元整理室	148.30 m ²
保存処理室	49.30 m ²
（鉄器	22.70 m ² ）
（木器	26.60 m ² ）
研修室	143.20 m ²
事務室	41.80 m ²
展示室	150.00 m ²
器材庫	11.00 m ²
エントランスホール他	212.78 m ²

2階 774.80 m²

写場・暗室	49.30 m ²
写真保管室	35.10 m ²
図面保管室	53.10 m ²
収蔵整理室	19.30 m ²
収蔵室	564.00 m ²
特別収蔵室	54.00 m ²

Ⅱ 埋蔵文化財センターの沿革

西暦	年月日	事項
1980	昭55	「埋蔵文化財調査センター建設計画」立案
1981	56	基本設計を実施
1982	57. 1. 9 7. 29 10. 2	起工式 竣工 宮崎県総合博物館埋蔵文化財センターとして宮崎市神宮2丁目4-4に設置。 センター長吉田敏明（兼博物館副館長）以下本務職員2名（岩永哲夫、谷口武範）、兼務職員8名、嘱託2名発令。出土品等の整理保管と教育普及活動を行う。 開館記念講演「日本文化のふるさとをたずねて、東南アジアの旅から」 （講師：国立民族学博物館教授 佐々木高明）
1983	58. 4. 1	センター長細川達雄発令。本務職員を3名（茂山護、岩永哲夫、谷口武範）に増員する。
1984	59. 4. 1	（茂山護転出、菅付和樹転入）
1985	60. 11. 2	文化財保護強調週間の行事として施設公開を初めて行う。
1986	61. 4. 1 61. 7	センター長久徳菊雄発令。兼務職員7名になる。 毎月第4土曜日の映写会「遺跡をたずねて」を始める。
1987	62. 3 62. 4	埋蔵文化財調査研究報告第1集「陣内第2遺跡、蓮ヶ池横穴墓群―遺物編」刊行。 埋蔵文化財講座を始める。
1988	63. 3 63. 4. 1	埋蔵文化財調査研究報告第2集「下那珂貝塚」刊行 センター長長友巖発令。本務職員1名（菅付和樹）、兼務職員9名となる。
1989	平1. 4. 1	センター長石井洋博発令。本務職員1名（永友良典）、兼務職員11名となる。
1990	2. 3 4. 1	埋蔵文化財調査研究報告第3集「下北方古墳―遺物編」刊行。 兼務職員13名となる。
1991	3. 3 4. 1	埋蔵文化財調査研究報告第4集「下弓田遺跡―資料編1」刊行。 センター長木幡文夫発令。設備充実の一環として、軟X線撮影装置等を導入する。
1992	4. 4. 1	センター長藤崎景二発令。 埋蔵文化財センター開設10周年記念企画展「宮崎の埋文情報展'82〜'91」を開催する。 脱塩装置、赤外線TVカメラシステム等を導入する。
1993	5. 4. 1 9. 15	センター長後藤健志発令。本務職員1名（長津宗重）、兼務職員15名となる。 空調設備増設
1994	6. 3. 8	特別収蔵庫設置
1995	7. 1. 29 2. 16 4. 1	一般収蔵庫増設工事完成 屋根防水工事完了 センター長関屋清志発令。本務職員1名（長津宗重）、兼務職員24名となる。 県文化課埋蔵文化財第二係（調査部門）を埋蔵文化財センターに置く。
1996	8. 4. 1	宮崎県埋蔵文化財センターとして総合博物館から分離独立し、庶務係、調査第一係、第二係、教育普及係（第二係兼務）を置く。 所長藤本健一以下職員37名、嘱託1名発令。 鶴島分室（旧婦人相談所：宮崎市鶴島2丁目11-25）を設置し、調査第一係（東九州自動車道担当）を置く。
1997	9. 3. 17 4. 1	分室を国富（旧国富農業改良普及センター：国富町大字本庄4777-2）に移転する。 職員37名、嘱託7名となる。
1998	10. 4. 1	所長田中守発令。職員39名、嘱託8名となる。
1999	11. 4. 1	職員42名、嘱託8名となる。
2000	12. 1. 20 4. 1	佐土原町に新館が完成し、国富分室を統合廃止する。神宮の旧本館を分館とする。 所長矢野剛発令。課制となり、総務課、調査第一課、調査第二課、普及資料課を置く。 職員52名、非常勤職員12名となる。分館（研修室、事務室、図面保管室、写真保管室）改築工事完成
2001	13. 4. 1 7. 1	職員59名、非常勤16名となる。 調査第一課調査研究室設置
2002	14. 4. 1	所長米良弘康発令。職員63名、非常勤職員17名となる。
2003	15. 4. 1	職員64名、非常勤15名となる。
2004	16. 4. 1	所長宮園淳一発令。職員62名（うち任期付き職員13名）、非常勤職員12名となる。 収蔵庫用に旧簡検定工場を農政企画課から所管換え。

西暦	年月日	事 項
2005	17. 3. 8 4. 1 8. 18 11. 16	収蔵第一期工事完成。 職員61名（うち任期付き職員19名）、非常勤職員9名となる。 収蔵第二期工事完成。 調査一課整理棟の設置。（東畦原整理作業棟撤去に伴い貸借開始）
2006	18. 4. 1	所長清野勉発令。職員 64 名（うち任期付き職員 18 名）、非常勤職員 8 名となる。
2007	19. 6. 1	職員 64 名（うち任期付き職員 19 名）、非常勤職員 3 名となる。
2008	20. 4. 1	所長福永展幸発令。職員 61 名（うち任期付き職員 16 名）、非常勤職員 2 名となる。調査第一課整理棟撤去。
2009	21. 4. 1	職員 59 名（うち任期付き職員 18 名）、非常勤職員 1 名となる。
2010	22. 4. 1	所長森隆茂発令。職員 62 名（うち任期付き職員 18 名）、非常勤職員 1 名となる。
2011	23. 4. 1	職員 53 名（うち任期付き職員 15 名）、非常勤職員 1 名となる。
2012	24. 4. 1	所長北郷泰道発令。職員 42 名（うち任期付き職員 7 名）、非常勤職員 1 名となる。10 月より東日本大震災復興支援で宮城県へ松本 茂を派遣。
2013	25. 4. 1 10. 12 ～ 12. 8	所長向井大蔵発令。職員 31 名、非常勤職員 1 名となる。引き続き東日本大震災復興支援で、宮城県へ和田理啓を派遣。 特別展『みやざき発掘 100 年ーいこしえの「道」と交流』開催
2014	26. 4. 1	所長岩切隆志発令。職員 28 名、非常勤職員 1 名となる。調査第一課と調査第二課を統合し、調査課を置く。東日本大震災復興支援で宮城県へ和田理啓を派遣（2 年目）。
2015	27. 4. 1	東日本大震災復興支援で宮城県へ和田理啓を派遣（3 年目）。本年度で派遣終了。 移動展示会「ふるさと発掘！埋文キャラバン」事業でアウトリーチ活動を展開。 旧調査第一課調査研究室撤去。
2016	28. 4. 1	所長谷口武範発令。10 月より非常勤職員 2 名となる。
2017	29. 4. 1	所長菅付和樹発令。職員 29 名、非常勤職員 3 名となる。平成 28 年熊本地震復興支援で加藤 徹を熊本市に派遣。
2018	30. 4. 1	所長長峯勝志発令。職員 30 名、非常勤職員 3 名となる。平成 28 年熊本地震復興支援で沖野 誠を熊本市に派遣。

Ⅲ 平成29年度の活動状況

埋蔵文化財センターは次に掲げる業務を行っている。

- 1 埋蔵文化財の調査研究
- 2 出土品その他の資料の保存及び活用
- 3 埋蔵文化財の調査研究に係る図書その他の資料の整備
- 4 埋蔵文化財関係者の専門的・技術的な研修及び指導
- 5 埋蔵文化財保護思想の普及及び啓発

平成29年度は以下に記載する事業を実施した。

1 埋蔵文化財記録保存のための発掘調査

(1) 発掘調査

国・県施設、地域高規格道路やスマートインターチェンジ建設に伴う試掘・確認調査及び発掘調査を実施している。本年度は、青木遺跡（高鍋町）、保木島遺跡、上高遺跡、嫁坂遺跡、松下遺跡、小松尾遺跡（都城市）、塚原遺跡（国富町）など7箇所の本調査を実施した。

【発掘調査一覧】

	遺跡名	所在地	主な時代	主な遺構	主な遺物	調査期間	調査面積	調査担当者	調査原因
1	青木遺跡	高鍋町 大字 上江	縄文後～ 晩期	土坑1基	黒色磨研系土器 石斧未製品	H29. 6. 14 }	650 m ²	和田理啓 甲斐尚和	県道木城 高鍋線 (青木工区) 道路改良工事
			古墳時代	竪穴建物跡6	須恵器、管玉	H29. 9. 29			
			古代～ 中世	掘立柱建物跡 7	土師器	(実調査日数 62日)			
			近世	溝状遺構1	陶磁器				
2	保木島遺跡 (第2次調査)	都城市 梅北町	縄文早期	集石遺構11	妙見・天道ケ尾	H29. 5. 8	10,300 m ²	宇和田幹彦 松浦朋彦 永山鏡太郎	県道飯野 松山都城線 (都城志布志 道路) 金御岳工区 建設
			縄文後～ 晩期	土坑4	式土器、石鏃、 石匙	H30. 3. 9			
			古代～ 中世	溝状遺構 道路状遺構	三万田式土器、 黒川式土器	(実調査日数 175日)			
3	上高遺跡	都城市 梅北町	縄文早期	集石遺構20 土坑12	押型文土器、 石鏃	H29. 5. 8 }	4,900 m ²	平井祥蔵 和田理啓 下田代清海	県道飯野 松山都城線 (都城志布志 道路) 金御岳工区 建設
			縄文後～ 晩期	竪穴建物跡1 小穴多数	黒色磨研系土器 石斧	H30. 2. 28			
			古代～ 中世	溝状遺構9	須恵器	(実調査日数 178日)			

	遺跡名	所在地	主な時代	主な遺構	主な遺物	調査期間	調査面積	調査担当者	調査原因
4	嫁坂遺跡 (第2次調査)	都城市 梅北町	縄文後～ 晩期	小穴7	黒色磨研系土器 石匙、石鏃	H29. 12. 6 } H30. 3. 5 (実調査日数 48日)	800 m ²	甲斐尚和 徳田尚文	県道飯野 松山都城線 (都城志布志 道路) 金御岳工区 建設
5	松下遺跡	都城市 志比田町	縄文時代 後期か 弥生時代	— 竪穴建物跡 掘立柱建物跡 周溝状遺構 土坑	縄文土器 打製石鏃 弥生土器(甕、 壺、高坏、鉢) 石包丁	H29. 6. 5 } H29. 10. 27 (実調査日数 88日)	4,600 m ²	恵利武馬 竹田享志 二宮満夫	国道10号 都城道路 (2工区) 建設
6	小松尾遺跡 (第1次調査)	都城市 乙房町	古墳時代 中世	竪穴建物跡 溝状遺構	土師器(小型丸 底壺) 陶磁器	H29. 11. 13 } H30. 1. 19 (実調査日数 38日)	2,800 m ²	竹田享志 恵利武馬 橋本英俊	国道10号 都城道路 (2工区) 建設
7	塚原遺跡 (J地区)	国富町 大字 塚原	旧石器 縄文草創 期～早期 弥生 古墳	礫群2 石器ブロック 集石遺構13 連結土坑1群 竪穴建物跡11 溝状遺構5 土坑7 土坑墓2 古墳1(墳丘、 周溝)	ナイフ形石器 縄文土器 打製石鏃 弥生土器 磨製石鏃 須恵器	H29. 4. 12 } H29. 6. 30 (実調査日数 57日)	700 m ²	後藤清隆 竹田享志 二宮満夫	国富スマート インターチェンジ (仮称) 建設

(2)発掘調査に伴う調査指導及び職員の資料調査

慎重な比較検討を要する遺跡の調査を実施するにあたって、調査方法等の指導を受けるため各分野の研究者を招聘している。また、職員を派遣し、位置づけの明確でない遺構や遺物について調査を行うものである。

【調査指導】

日程	場所(遺跡)	所属・氏名	指導内容
本年度は該当なし	—	—	—

【資料調査】

日 程	出張先	出張者	目 的
本年度は該当なし	—	—	—

(3) 出土遺物等整理及び発掘調査報告書の刊行

埋蔵文化財センターでは、発掘調査で出土した遺物等の水洗、注記から実測、製図までの整理を行い、発掘調査報告書を作成している。本年度整理を実施した遺跡は12遺跡で、内訳は地域高規格道路が県土木事務所事業2遺跡・国土交通省事業3遺跡、県道改良事業が3遺跡、県庁舎建設事業が1遺跡、スマートIC事業が1遺跡、みやざきの古墳保護・活用事業が2遺跡である。なお、本年度は整理作業の終了した3遺跡について発掘調査報告書を刊行した。

【出土遺物等整理対象遺跡一覧】

遺跡名	事業名	事業者
青木遺跡	県道木城高鍋線道路改良工事	県土整備部高鍋土木事務所
高樋遺跡	県道飯野松山都城線（都城志布志道路）梅北工区道路整備工事	県土整備部都城土木事務所
嫁坂遺跡	県道飯野松山都城線（都城志布志道路）金御岳工区道路整備工事	県土整備部都城土木事務所
潮遺跡	県道札ノ元佐土原線潮工区道路改良工事	県土整備部西都土木事務所
山之後遺跡		
橋通東1丁目遺跡	防災拠点庁舎建設工事	総務部総務課防災拠点調査整備室
平田遺跡	国道10号都城道路工事	国土交通省九州地方整備局 宮崎河川国道事務所
松下遺跡		
平底第2遺跡	高千穂日之影道路（平底地区）建設	国土交通省九州地方整備局 延岡河川国道事務所
塚原遺跡	国富スマートインターチェンジ（仮称）建設	NEXCO西日本 県土整備部高岡土木事務所
塚原古墳・百塚原古墳群	みやざきの古墳保護・活用事業	県教育委員会

【発掘調査報告書刊行一覧】

No.	報告書名	副書名	執筆・編集者
242	潮・山之後遺跡	一般県道札ノ元佐土原線（潮工区）道路改良工事に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書	加藤 徹
243	高樋遺跡	県道飯野松山都城線（都城志布志道路）梅北工区道路整備工事に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書4	徳田尚文
244	橋通東1丁目遺跡	防災拠点庁舎建設工事に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書	高村 哲

(4)みやぎの古墳保護・活用事業

昨年度まで実施していた重要古墳等保護活用事業において、新たに発見された古墳や重要性の高い古墳を調査し、国や県による新たな史跡指定等に向けた取り組みを進めている。また古墳の価値や魅力について県民の理解を深め、保護・継承の気運醸成を図るため、古墳のデータベースを作成するとともに情報発信や発掘体験等の保護啓発活動を実施している。

①重要古墳等の調査

平成29年度は、以下の古墳について確認調査、地中レーダー探査及び墳丘測量調査を実施した。

【確認調査一覧】

	遺跡名	所在地	主な時代	主な遺構	主な遺物	調査期間	調査面積	調査担当者
1	塚原古墳	国富町 大字塚原	旧石器～ 縄文	—	石器、縄文土器	H29. 5. 15 }	54.1 m ²	高橋浩子 黒木俊彦 日高広人
			弥生～ 古墳	溝状遺構6 土抗1 不明遺構1	弥生土器 土師器、須恵器	H29. 6. 7 (実調査日数13日)		
2	百塚原古墳群	西都市 大字三納	縄文～ 弥生	—	縄文土器、弥生土 器、石器	H29. 10. 23 }	314 m ²	
			古墳	古墳の周溝1、 消失墳の周溝3、 地下式横穴墓1、 溝状遺構4、土抗3	土師器、須恵器	H29. 12. 22 (実調査日数37日)		

【地中レーダー探査一覧】

	遺跡名	所在地	主な時代	主な遺構	主な遺物	調査期間	調査面積	調査担当者
1	百塚原古墳群	西都市 大字三納・ 三宅	古墳	古墳の周溝3 消失墳の周溝6 地下式横穴墓3	—	H29. 11. 28 } H29. 11. 29	6,171 m ²	高橋浩子 黒木俊彦
2	広瀬村古墳 45号	宮崎市 佐土原町	古墳	古墳の周溝1	—	H30. 2. 13 } H30. 2. 22 (実調査日数1日)	2,555 m ²	日高広人 西都原考古 博物館

【墳丘測量調査一覧】

	遺跡名	所在地	主な時代	主な遺構	調査期間	調査面積	調査担当者
1	広瀬村古墳 45号	宮崎市 佐土原町	古墳	—	H29. 6. 9～7. 12 (実調査日数19日)	—	高橋浩子 黒木俊彦 日高広人

	遺跡名	所在地	主な時代	主な遺構	調査期間	調査面積	調査担当者
2	永野古墳3号	西都市 大字三納	古墳	—	H29. 7. 3～7. 10 (実調査日数4日)	—	高橋浩子 黒木俊彦 日高広人
3	百塚原古墳群 6～9・12～ 14・40～42	西都市 大字三納	古墳	—	H29. 12. 22 H30. 1. 19～3. 13 (実調査日数8日)	—	

②古墳のデータベース作成（悉皆調査）

県内に所在する古墳については、国指定古墳 936 基、県指定古墳 941 基（指定解除除く）、市町村指定古墳 22 基、陵墓参考地 4 基、未指定古墳 396 基、記録保存された古墳 1, 242 基の計 3, 541 基が確認されている。このうち平成 29 年度は、国指定古墳や未指定古墳について、現状の把握と G P S による位置情報の蓄積および墳丘規模の計測作業を行った。本年度は、422 基について実施し、その結果を順次、データベースにまとめている。

【データベース作成（悉皆調査一覧）】

市町村名	古墳名	基数	調査担当者
延岡市	南方古墳群（国指定・未指定）、上野古墳（未指定）	46	日高広人 高橋浩子 黒木俊彦
川南町	川南古墳群（国指定）	13	
高鍋町	持田古墳群（国指定・未指定）	45	
西都市	西都原古墳群（国指定）	225	
新富町	新田原古墳群（国指定）	33	
宮崎市	生目古墳群（国指定）、蓮ヶ池横穴墓群（国指定）	51	
国富町	本庄古墳群（国指定）	9	

(5) 保存処理

普及資料課では、出土した金属製品や木製品について管理や保存処理を行っている。本年度は、3 遺跡の木器 33 点の処理を実施した。なお、特別収蔵庫で管理している金属器のうち 4, 444 点の西都原考古博物館への移管替えを行った。さらに収蔵リストを再構築し、当センターと西都原考古博物館で確実に遺物の所在を把握できるようにした。

【木器保存処理実施の遺跡】

遺跡名	主な器種	保存処理
塚原遺跡	木製品（杭）など	糖アルコール法にて処理

(6) 収蔵整理

① 収蔵庫（分館）

分館収蔵庫には、登録を完了した遺物や登録作業途中・待機中の遺物を収蔵している。平成29年度は、特別収蔵庫の鉄製品171箱を西都原考古博物館に搬送した。登録による箱数圧縮分が39箱あり、年度末における収蔵量はコンテナ8,416箱となった。

② 収蔵庫（本館）

新収蔵庫には、主に本館で整理作業の終了した遺物や登録待機遺物を収蔵している。平成29年度は、コンテナ24箱を搬入した。これまでに搬入した分と合わせると、コンテナ14,472箱の収蔵量となった。

③ 登録作業

分館における平成29年度の実績は11遺跡、コンテナ115箱である。登録累計236遺跡、コンテナ6,579箱となった。本館における同年度の実績は2遺跡、コンテナ24箱であり、登録累計遺跡、コンテナ3,141箱となった。よって、平成29年度の本館と分館を合わせた登録収蔵総累計は、318遺跡、コンテナ9,605箱である。

④ 図書資料

全国から送られてくる発掘調査等の報告書や購入書籍・雑誌類を図書室に集架している。平成29年度は1,875冊の受け入れがあり、合計収蔵数は78,845冊になる。バーコードを利用した図書管理システムを導入しており、パソコンを用いた図書類のデータベース登録を実施している。

2 教育普及活動

平成29年度の教育普及事業は、文化庁の補助事業として27年度から29年度までの3カ年行う移動展示会「ふるさと発掘！埋文キャラバン」（最終年度）を主要事業として実施した。埋蔵文化財講座「ここまでわかったひむかの歴史」は第3日曜日開催で年6回行い、「遺跡発掘速報会」も9月に行った。8月の夏休み体験講座は、台風接近のため中止となったが、「施設公開」は文化財保護強調週間中の文化の日に分館で行った。

発掘調査の成果を公開する分館の常設展示では、埋文講座との関連展示など、テーマ展示を年間3回実施し、常設展示の更新につとめた。平成29年度の分館入館者は5,748名であった。



(1) 移動展示会『ふるさと発掘！埋文キャラバン』事業（文化庁補助事業）

埋蔵文化財センターの業務紹介と時代ごとの解説や遺物の展示、キャラバン講座や関連イベントの実施、「みやざきの埋蔵文化財ハンドブック-第3集-」「縄文土器のペーパークラフト」の作成・配布など、埋蔵文化財の保護を啓発するため県内の2会場で開催した。

- ① 名称：移動展示会『ふるさと発掘！埋文キャラバン』
- ② 主催：宮崎県埋蔵文化財センター
- ③ 共催：三股町・三股町教育委員会 椎葉村・椎葉村教育委員会
- ④ 会場・会期：三股町立文化会館 9月30日（土）～10月29日（日）

椎葉村役場

11月6日(月)～11月24日(金)

⑤ 観覧者数

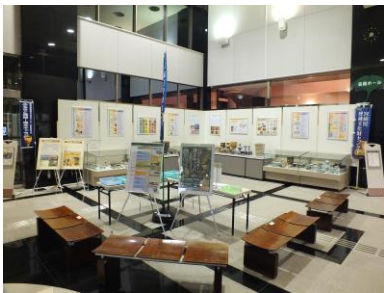
三股会場：18,396名 椎葉会場：1,636名 総数：20,032名

⑥ 関連行事：

各会場で体験講座（石器レプリカづくり、土器文様拓本体験、縄文土器のペーパークラフト、土器パズル）、講演会、展示資料解説等を行った。

(ア) 三股会場 平成29年10月21日(土)・24日(火)・28日(土) 参加者1,462名

(イ) 椎葉会場 平成29年11月19日(日) 参加者182名



三股会場の展示



椎葉会場の展示



講演会での展示資料解説

(2) 埋蔵文化財講座「ここまでわかったひむかの歴史」

近年、発掘調査報告書を刊行した遺跡の最終成果報告講座として、年6回（5、6、7、12、1、2月の第3日曜日）、午後1時30分から午後3時まで分館研修室で講演会を実施し、関連する遺物も展示して解説を行った。また、参加者を増やす取り組みとして早期の広報活動や、報告遺跡所在地周辺の学校・団体等への参加依頼やチラシ配布、アンケートによる評価の考察、初心者にもわかりやすい考古学資料の作成等に取り組み、6回の講座に延べ221名の参加者があった。

開催日	講演名	講師	参加者
第1回 H29.5.21	「縄文時代の食 ～集石遺構と炉穴～」 別府原遺跡（西都市）	宮崎県埋蔵文化財センター 日高広人	26名
第2回 H29.6.18	「弥生時代の大きなムラが残したもの」 下那珂遺跡（宮崎市）	宮崎県教育庁文化財課 甲斐貴充氏	48名
第3回 H29.7.16	「本庄古墳群を造った人々の集落」 西下本庄遺跡(国富町)	宮崎県埋蔵文化財センター 松林豊樹	41名
第4回 H29.12.17	「中世石塔の考古学」 山内石塔群（宮崎市）	宮崎県総合博物館 長津宗重氏	31名
第5回 H30.1.21	「古代日向の国府に迫る」 寺崎遺跡（西都市）	宮崎県埋蔵文化財センター 吉本正典	30名
第6回 H30.2.18	「住環境良好？縄文時代後期の集落跡」 竹ノ内遺跡（宮崎市）	宮崎県埋蔵文化財センター 菅付和樹	45名

(3) 埋文センター施設公開・体験講座

例年、埋蔵文化財センターの事業のPRと埋蔵文化財保護啓発の目的で「施設公開」を開催している。

本年度は、文化財保護強調週間中の11月3日（金・祝）に、「埋文センターで考古学体験」と題して分館において終日開催した。また8月6日（日）に行う予定であった夏休みの体験講座「旧石器時代の槍をつくろう」は、台風5号接近のため中止となった。

【施設公開「埋文センターで考古学体験」】

開催日	開催場所	内容	参加者
H29. 11. 3	埋蔵文化財センター分館	土器水洗体験、土器接合体験、土器拓本しおり体験、発掘疑似体験、石器レプリカ製作体験、ドングリつぶし体験、巨大土器と写真撮影、土器パズル等	228名



施設公開（発掘疑似体験）



施設公開（接合体験）



施設公開（ドングリつぶし体験）

(4) 遺跡発掘速報展 2017・遺跡発掘速報会

埋蔵文化財センターが発掘調査を実施した、都城志布志道路関連の遺跡の資料を展示する遺跡発掘速報展 2017 を、県立図書館 2 階特別展示室において開催した。また、平成 28 年度に県内で埋蔵文化財センターが実施した発掘調査の成果について調査担当者が報告する遺跡発掘速報会を、県立図書館 2 階視聴覚室において行い、関連する遺物も展示した。

【遺跡発掘速報展 2017】

開催期間	開催場所	展示遺跡	参加者
H29. 8. 26 ～ H29. 9. 18	県立図書館 特別展示室	高樋遺跡、笹ヶ崎遺跡、大年遺跡、中床丸遺跡	1, 114 名

【遺跡発掘速報会】

開催日	開催場所	報告遺跡	参加者
H29. 9. 3	県立図書館 視聴覚室	平底第 2 遺跡、潮・山之後遺跡、塚原遺跡、橘通東 1 丁目遺跡、平田遺跡、嫁坂遺跡	97 名

(5) 分館テーマ展示

分館の展示室において、埋蔵文化財センターがこれまでに発掘調査を行った遺跡について、遺跡ごとに出土遺物を紹介するテーマ展示を年3回行った。一部は埋蔵文化財講座や遺跡発掘速報展などの事業との連携を図って構成した。

開催時期	開催場所	展示テーマ	展示遺跡
H29. 4. 24～H30. 3. 31	埋蔵文化財センター分館	埋文講座関連展示	下那珂遺跡、西下本庄遺跡
H29. 10. 3～H30. 3. 31	埋蔵文化財センター分館	都城志布志道路関連の遺跡	笹ヶ崎遺跡
H30. 2. 5～H30. 3. 31	埋蔵文化財センター分館	宮崎学園都市の遺跡	前原南遺跡、前原北遺跡

(6) 出前展示

発掘調査で県内各地から出土した遺物などを各地域で展示し、発掘の成果を公開した。合わせて埋蔵文化財センターの業務内容についての紹介を行った。また、本年度も県高速道対策局関連のイベントに参加して遺物を展示紹介した。

	開催日	名称	場所	内容	参加者
1	H29. 12. 20 ～ H30. 1. 15	遺物が語る我がふる里 「木花地区の遺跡と県内の出土品」	県武道館	埋蔵文化財センターの業務紹介パネル展示及び宮崎市木花地区で発掘された遺物や県内各地で発掘された武器・狩猟具の展示	約 25,100名
2	H30. 1. 20 ～ H30. 1. 21	みやざき産業祭	フローランテ 宮崎	埋蔵文化財センターの業務紹介パネル展及び遺物展示・解説、「みやざきの埋蔵文化財ハンドブック」配布、土器パズル	—
3	H30. 2. 3	都城志布志道路梅北工区 開通式	都城市立 梅北小学校	埋蔵文化財センターの業務紹介パネル展及び遺物展示・解説、「みやざきの埋蔵文化財ハンドブック」配布	100名
4	H30. 3. 17	第11回 道づくりを考える 宮崎中央女性の会総会 研修会	宮崎市教育 情報研修 センター	埋蔵文化財センターの業務紹介パネル展及び遺物展示・解説、「みやざきの埋蔵文化財ハンドブック」配布	140名

(7) 出前講座

埋蔵文化財センター職員が県内各地に出向いて、生涯学習団体や学校を対象とした出張講座を実施している。地域の歴史や遺物の展示・解説、遺物に触れる体験、埋蔵文化財センターの業務紹介等を行った。

	開催日	学校名・機関名	対象	内容	参加者
1	H29. 5. 2	川南町立通山小学校	6年生	① 埋蔵文化財センターの仕事 ② 宮崎の歴史、川南町の遺跡と遺物	39名

	開催日	学校名・機関名	対 象	内 容	参加者
2	H29. 10. 18	五ヶ瀬町地域公開講座	一般	① 埋蔵文化財センターの仕事 ② 宮崎の歴史、五ヶ瀬町の遺跡と遺物	137名
3	H29. 10. 24	三股町さつき学園	一般	① 埋蔵文化財センターの仕事 ② 宮崎の歴史、体験講座	32名
4	H29. 10. 28	三股町チャレンジ教室	4～6年生	① 埋蔵文化財センターの仕事 ② 宮崎の歴史、体験講座	17名
5	H29. 11. 12	広瀬西小学校区 地域づくり協議会	一般	① 埋蔵文化財センターの仕事 ② 宮崎の歴史、広瀬西小学校区の 遺跡と遺物	28名
6	H30. 2. 2	都城市立梅北小学校	全校児童	① 埋蔵文化財センターの仕事 ② 都城志布志道路梅北工区の遺跡 と遺物	155名
7	H30. 2. 24	都城市五十市地区 まちづくり総合研修会	一般	① 埋蔵文化財センターの仕事 ② 五十市地区の遺跡と遺物	103名

(8) 現地説明会・発掘体験

発掘調査中の現場を県民の方に見学していただく、遺跡の現地説明会を行った。また、発掘の業務を理解していただくために発掘の体験も行った。

【現地説明会】

	開催日	遺跡名	開催地	内 容	参加者
1	H29. 9. 30	松下遺跡	都城市志比田町	① 埋蔵文化財センターの発掘調査について ② 遺跡の調査概要、遺構・遺物の説明と見学 ③ 火山の活動と地層について	101名
2	H29. 12. 16	百塚原古墳群 (調査成果報告会)	西都市大字 三宅	① 埋蔵文化財センターの仕事紹介 ② 遺跡の調査概要、遺構・遺物の説明と見学	15名

【発掘体験】

	開催日	遺跡名	開催地	内 容	参加者
1	H29. 12. 16	百塚原古墳群	西都市大字 三宅	古墳時代の遺構・遺物を調査する発掘を、実際と同じ手法や道具を用いて行った。	18名

(9) 見学・研修等で訪れた団体およびインターンシップ・職場体験の受け入れ

	実施日	場 所	団体名	内 容	人 数
1	H29. 5. 1	埋蔵文化財センター分館	宮崎市立宮崎東小学校6年生	展示見学	49名
2	H29. 5. 12	埋蔵文化財センター分館	西都市立穂北小学校3年生	展示見学	37名

	実施日	場 所	団体名	内 容	人 数
3	H29. 5. 16	埋蔵文化財センター分館	日南市乙東区高齢者クラブ	展示見学	33名
4	H29. 5. 20	埋蔵文化財センター分館	古代史探訪会	展示見学	8名
5	H29. 5. 26	埋蔵文化財センター分館	宮崎市立潮見小学校3年生	展示見学	100名
6	H29. 5. 27	埋蔵文化財センター分館	宮崎地質研究会	研修	4名
7	H29. 6. 21	埋蔵文化財センター分館	尚学館小学校1～3年生	展示見学	130名
8	H29. 7. 22	埋蔵文化財センター分館	宮崎地質研究会	研修	5名
9	H29. 7. 31	埋蔵文化財センター分館	さくら学童デイサービス	展示見学	11名
10	H29. 8. 21	埋蔵文化財センター分館	佐土原幼稚園	展示見学	45名
11	H29. 10. 13	埋蔵文化財センター分館	北方町高齢者クラブ	展示見学	24名
12	H29. 10. 27	埋蔵文化財センター分館	三股町立三股小学校4年生	展示見学	67名
13	H29. 10. 30	埋蔵文化財センター分館	日向市立大王谷小学校4年生	展示見学	51名
14	H29. 10. 30	埋蔵文化財センター分館	西都白寿会	研修	13名
15	H29. 12. 23	埋蔵文化財センター分館	宮崎地質研究会	展示見学	5名
16	H29. 12. 23	埋蔵文化財センター分館	宮崎大学博物館学実習	展示見学	40名
17	H29. 7. 4～6	埋蔵文化財センター本館	宮崎市立宮崎中学校2年生	職場体験学習	1名
18	H29. 7. 5～7	埋蔵文化財センター本館	宮崎市立住吉中学校2年生	職場体験学習	2名
19	H29. 9. 13～15	埋蔵文化財センター本館 および分館	宮崎産業経営大学3年生	インターンシップ	1名
20	H29. 11. 8～10	埋蔵文化財センター本館	宮崎市立広瀬中学校2年生	職場体験学習	2名
21	H29. 12. 12～16	埋蔵文化財センター本館	障がい者職場体験支援事業	職場体験実習	1名

(10) 資料等の提供

埋蔵文化財センターでは、一般や公共機関、研究機関、研究者の利用希望に応じて、可能な限り資料を提供している。資料提供には資料調査等に係る館内利用（資料の閲覧・実測等）や館外貸出及び掲載許可申請があり、平成29年度は館内利用11件、館外貸出18件、掲載許可5件であった。

【館内利用】

	利用日	遺跡名・利用資料名	利用目的
1	H29. 7. 10	山崎上ノ原第2遺跡、宮ノ前第2遺跡 [輔羽口・鉄滓・粒状滓・玉]	資料調査
2	H29. 8. 26	筆無遺跡、宮ノ東遺跡、野首第2遺跡、平田遺跡D・E地点、本宮遺跡、竹淵C遺跡、枯木ヶ迫遺跡、寺崎遺跡、市位遺跡、余り田遺跡 [青磁・白磁・緑釉陶器・灰釉陶器]	資料調査

	利用日	遺跡名・利用資料名	利用目的
3	H29. 11. 8	牧内第1遺跡、向原第1遺跡、別府原遺跡、平峰遺跡、内野々遺跡、宮ノ東遺跡、下耳切第3遺跡 [台石・敲石・磨製石斧・炭化種子]	資料調査
4	H29. 11. 16～ H29. 11. 17	野首第1遺跡、八幡遺跡、小峰窯跡 [土瓶・香炉・磁器・窯道具]	資料調査
5	H29. 11. 18	白ヶ野第2・第3遺跡 [押型文土器・手向山式土器・平椀式土器・塞ノ式土器・石器・轟A式土器]	資料調査
6	H29. 12. 8	白ヶ野第2・第3遺跡 [石斧と関連資料]	資料調査
7	H29. 12. 16	筆無遺跡、平峰遺跡、岡遺跡（6次）、大窪第1遺跡、笹ヶ崎遺跡 [縄文土器]	資料調査
8	H30. 2. 5	山崎下ノ原第1遺跡、西ノ別府遺跡 [乳文鏡・重圈文鏡]	資料調査
9	H30. 2. 22～ H30. 2. 23	野添遺跡、内野々遺跡、生駒遺跡 [縄文土器] ※報告書未掲載資料を含む	資料調査
10	H30. 3. 12～ H30. 3. 15	上ノ迫遺跡、上ノ原遺跡、野首第2遺跡、音明寺第2遺跡、牧内第1遺跡、唐木戸第3遺跡、中ノ迫第1遺跡（二次） [石器] ※報告書未掲載資料を含む	資料調査
11	H30. 3. 13	山崎上ノ原第1遺跡、宮ノ東遺跡、平峰遺跡（1次・2次・3次調査） [平底深鉢・須恵器・移動式竈・須恵器蓋・格子タタキ土器・瓶]	資料調査

【館外貸出】

	期 間	貸出資料名	数量	利用目的	貸出機関名
1	H29. 4. 1 ┌ H30. 3. 31	野添遺跡 [ササゲ属種子炭化物・栗種子炭化物]	30	文化交流展示「海の道、アジアの路」（平常展）において展示	九州国立博物館
2	H29. 4. 4 ┌ H29. 6. 30	西下本庄遺跡、竹ノ内遺跡、山崎上ノ原第2遺跡、池島遺跡、野首第2遺跡、赤坂遺跡、大窪第1遺跡、穂北城跡 [越州窯青磁・翡翠製勾玉・椀型土器・漆付着土師器坏・高麗青磁皿・白磁椀・青白磁合子・黒色土器・翡翠製小珠・ベンガラ付着磨石・黒色土師器坏・青花皿・染付皿・華南三彩]	14	平成29年度企画展Ⅰ「色が語るいにしへの技と心」で展示	宮崎県立西都原考古博物館

	期 間	貸出資料名	数量	利用目的	貸出機関名
3	H29. 4. 11	学習キット [旧石器・弥生]、堂地東遺跡 [弥生土器]	119	大学の講義で使用	南九州大学 長津宗重氏
4	H29. 4. 20～ H29. 4. 24	学習キット [縄文・弥生]	143	第6学年の授業で使用	宮崎市立 西池小学校
5	H29. 4. 25～ H29. 4. 29	学習キット [縄文・弥生・古墳]、土器片、石錘、瓦片	228	第6学年の授業で使用	西都市立 妻北小学校
6	H29. 4. 30～ H29. 5. 7	学習キット [縄文・弥生・古墳]	164	第6学年の授業で使用	美郷町立 田代小学校
7	H29. 5. 12	学習キット [旧石器]	75	大学の講義で使用	南九州大学 北郷泰道氏
8	H29. 5. 25	学習キット [縄文]	100	大学の講義で磯用	南九州大学 北郷泰道氏
9	H29. 6. 13 } H29. 9. 29	尾花A遺跡、板平遺跡、杵木地下式横穴墓群、上の原第1遺跡、松本塚古墳 [船形土器・車輪石・ゴホウラ製貝釧・布留系甕・壺・甕・高坏・小型土器・円筒埴輪]	10	平成29年度特別展「日向諸君と葛城氏」で展示	宮崎県立 西都原考古 博物館
10	H29. 8. 8 } H29. 12. 27	竹ノ内遺跡、塚原遺跡、平田遺跡D地点、尾花A遺跡、向原第1遺跡、湯牟田遺跡、大窪第1遺跡、平峰遺跡、山崎上ノ原第1遺跡、山崎上ノ原第2遺跡Ⅱ、山崎上ノ原第2遺跡、宮ノ前第2遺跡 [土偶・岩偶・石偶・家形軽石製品・鳥形軽石製品・鉄矛・無茎凹基五角形鏃・無茎二段逆刺鏃・鉄斧・骨鏃型鉄鏃・銅鏃・板状鉄斧・鞆羽口・異形鉄器・圭頭鏃・鉋・叩石・砥石・金床石・鉄鋌凹字形鉄器・鉄滓・粒状滓・鍛造剥片]	50	平成29年度国際交流展「台湾鉄器文化の粹 新北市十三行遺跡と人びと」に出展	宮崎県立 西都原考古 博物館
11	H29. 8. 30	学習キット [古墳]、堂地東遺跡 [鉄製品一式・凹線文壺形土器]	7	総合博物館での学芸員実習で使用	宮崎県総合 博物館 長津宗重氏
12	H29. 11. 2 } H29. 11. 6	祇園原地区遺跡 [須恵器～坏蓋・坏身・平瓶・高坏・提瓶・甗]	6	博物館講座「考古野外講座 新田原古墳群を歩く」で使用	宮崎県総合 博物館

	期 間	貸出資料名	数量	利用目的	貸出機関名
13	H29. 11. 13 } H30. 2. 16	池島遺跡、筆無遺跡、笹ヶ崎遺跡、平峰遺跡、梅北針谷遺跡、平田遺跡E地点[土師器・陶磁器・鉄器・石鈔・墨書土器・越州窯青磁・おはじき・緑釉陶器]	29	平成29年度企画展「大島島田遺跡から島津荘へ」で展示	都城市教育委員会
14	H29. 12. 5 } H30. 6. 1	倉岡第2遺跡、白ヶ野第2・3遺跡、山田遺跡、坂ノ上遺跡、野首第2遺跡、中ノ迫第3遺跡[孔列文土器・後期凹線文系土器・組織痕土器・貝殻文円筒土器・押型文土器・貝殻条痕文土器]	6	西都原考古博物館常新展示に出展	宮崎県立西都原考古博物館
15	H29. 12. 12 } H30. 6. 1	堂地東遺跡、竹ノ内遺跡、本城原遺跡、八幡遺跡、池島遺跡、前ノ田村上第1遺跡、尾花A遺跡、塩見城跡[玉取獅子文皿・岩偶・華南三彩・清朝磁器・初期高麗青磁皿・白磁碗・青白磁合子・銅銭・ガラス玉・下城式甕・土製品・龍首水注・ベトナム青花瓶・青磁小壺・京都系土師器・土製聖人像]	26	合同企画展「豊と日向～日出る国の考古学～」に出展	宮崎県立西都原考古博物館
16	H29. 12. 14 } H29. 12. 18	矢野原遺跡[剥片尖頭器]	1	「どこでも博物館」で使用	宮崎県総合博物館
17	H30. 1. 19 } H30. 1. 22	堂地東遺跡、鬼付女西遺跡[凹線文壺型土器・土佐型甕形土器]、学習キット[旧石器～剥片尖頭器・角錐状石器・細石核・細石刃]	7	博物館講座「考古学講座 博物館資料の魅力」で使用	宮崎県総合博物館
18	H30. 2. 26 } H30. 5. 9	板平遺跡、下耳切第3遺跡[車輪石・円面硯]	2	歴史展示室ロビーケース展示「実物資料と復元レプリカ」で使用	宮崎県総合博物館

【刊行物等掲載（写真等資料提供）】

	申請日	資料名	掲載刊行物等	依頼者
1	H29. 4. 7	[写真データ][図版] 働女木遺跡「砥石・鉄器」	平成29年度企画展『「絵本 都城の歴史」の世界～むかしむかしのみやこんじょ～』において展示	都城市教育委員会

	申請日	資料名	掲載刊行物等	依頼者
2	H29. 5. 22	[写真] 山田遺跡・赤木遺跡第8地点・前ノ田村上第2遺跡「剥片尖頭器」	朝日放送「ビーバップハイヒール」5/25(木)にて、石器を紹介する際に画像を使用	朝日放送株式会社
3	H29. 10. 3	[写真データ] [図版] 池島遺跡・筆無遺跡「周溝墓完掘状況・土壙墓完掘状況」	平成29年度企画展「大島島田遺跡から島津荘へ」で展示	都城市教育委員会
4	H29. 11. 8	[写真] 別府原遺跡・下耳切第3遺跡「ユリ科鱗茎・イチイガシ」	植物利用技術の研究のため	物質文化研究所 名久井文明 氏
5	H29. 11. 24	[写真] 山田遺跡「組織痕土器」	西都原考古博物館HP内コラム「布を編む」にて掲載	西都原考古博物館 谷口晴子 氏

(11) 職員派遣

市町村の教育委員会に埋蔵文化財の専門的・技術的な指導を行い、諸機関・団体主催講演会等の普及啓発行事にも職員を派遣している。

派遣期日	依頼者	内容	派遣職員
H29. 12. 6～7	中山間・地域政策課	「日南海岸国定公園を中心とした県南地域におけるジオパーク等調査研究業務」に係る現場視察協力	赤崎広志
H29. 10. 24～12. 6	川南町教育委員会	井手ノ上村遺跡発掘調査指導	吉本正典 島木良浩 高村 哲 二宮満夫 徳原宏樹 恵利武馬
H29. 11. 30	高原町教育委員会	井ノ原遺跡発掘調査指導（出土遺物）	吉本正典
H30. 2. 27	高原町教育委員会	井ノ原遺跡発掘調査指導（地質）	赤崎広志

(12) 埋蔵文化財担当専門職員研修会

埋蔵文化財センターでは、発掘調査技術等の向上をめざし、県及び市町村埋蔵文化財担当専門職員を対象とした研修を実施している。

実施日	場 所	講 師	内 容	参加者数
H30. 2. 1～2. 2	埋蔵文化財センター 本館	中村一郎氏（奈良文化財研究所）	「埋蔵文化財写真の取り扱いについて」	31名

(13) 広報出版物

埋蔵文化財センターの「年間行事案内」及び「埋文通信」の発行を行うとともに移動展示会、施設公開等についてもポスターやチラシ、資料等の作成を行った。

発行年・月	広報出版物
H29. 5	宮崎県埋蔵文化財センター 年報 第21号 平成29(2017)年度
H29. 9	移動展示会『ふるさと発掘! 埋文キャラバン』関係 みやざきの埋蔵文化財ハンドブック第3集
H30. 3	平成30年度宮崎県埋蔵文化財センター 年間行事案内「EVENT CALENDAR」
H30. 3	宮崎県埋蔵文化財センター 通信 「ひむか」20号

(14) ホームページ

本年度は三股町、椎葉村における移動展示会「埋文キャラバン」や分館での施設公開、埋蔵文化財講座、本館における整理作業員の募集など各種の広報にホームページを活用した。また、分館におけるテーマ展示の情報や本館における発掘調査の情報も随時掲載するとともに、館内に掲示する写真をホームページに掲載した写真とリンクさせ、広報活動の充実を図った。

3 会議・職員研修

(1) 各種会議等への参加

全国公立埋蔵文化財センター連絡協議会ほか主催の各種会議等に職員を派遣し、職員の資質向上と業務の円滑な推進を図っている。

日程	内容	開催地	出席者
H29. 6. 1～6. 2	全国公立埋蔵文化財センター連絡協議会総会	静岡県静岡市	菅付和樹
H29. 6. 14	宮崎県地方史研究連絡協議会総会・研修会	宮崎県宮崎市	根井英樹
H29. 11. 24～11. 25	国公立埋蔵文化財センター連絡協議会 中国・四国・九州ブロック会議	福岡県小郡市	吉本正典
H29. 11. 27～12. 7	文化財担当者研修「文化財写真課程」	奈良県奈良市	二宮満夫
H30. 1. 31～2. 1	文化庁平成29年度 第2回埋蔵文化財担当職員等講習会	福岡県福岡市	島木良浩

(2) 共同研究への参加

所外の研究者や機関等が主催する共同研究へ職員が参加するものである。

日程	内容	参加者
本年度は該当者なし	—	—

(3)労働安全衛生関係の講習会等への参加

発掘調査現場及びセンター内での安全衛生の増進を図るため、以下の各講習会へ参加している。

日 程	内 容	参加者
H29. 4. 25～ 4. 26	安全衛生推進者養成講習	宇和田幹彦 平井 祥蔵 黒木 俊彦 竹田 享志
H29. 5. 1／ 5. 23 ／11. 30	足場の組み立て等の業務に係わる特別教育	吉本 正典 松林 豊樹 日高 広人 徳田 尚文 松浦 朋彦 二宮 満夫 黒木 俊彦 竹田 享志 島木 良浩 宇和田幹彦 平井 祥蔵
H29. 5. 8／ 5. 12	救急救命講座（心肺蘇生法・AED操作法・応急手当）	総務課・調査課・普及資料課の 職員
H29. 6. 19～ 6. 20	第二種衛生管理者受験準備講習	島木 良浩
H29. 8. 6	第二種衛生管理者免許試験	島木 良浩

IV 宮崎県埋蔵文化財センター管理規則

平成 8 年 3 月 29 日
教育委員会規則第 5 号

改正

平成 12 年 1 月 20 日教育委員会規則第 1 号
平成 12 年 3 月 31 日教育委員会規則第 8 号
平成 12 年 12 月 18 日教育委員会規則第 21 号
平成 18 年 3 月 30 日教育委員会規則第 9 号
平成 19 年 3 月 30 日教育委員会規則第 3 号
平成 20 年 3 月 31 日教育委員会規則第 6 号
平成 26 年 3 月 27 日教育委員会規則第 2 号
宮崎県埋蔵文化財センター管理規則をここに公布する。
宮崎県埋蔵文化財センター管理規則

(趣旨)

第 1 条 この規則は、別に定めるもののほか、宮崎県埋蔵文化財センター及び宮崎県埋蔵文化財センター分館（以下「埋蔵文化財センター」という。）の管理運営に関し必要な事項を定めるものとする。

(事業)

第 2 条 埋蔵文化財センターは、次に掲げる事業を行う。
(1) 埋蔵文化財の調査研究に関すること。
(2) 出土品その他の資料の保存及び活用に関すること。
(3) 埋蔵文化財の調査研究に係る図書その他の資料の整備に関すること。
(4) 埋蔵文化財関係者の専門的、技術的な研修及び指導に関すること。
(5) 埋蔵文化財保護思想の普及及び啓発に関すること。
(6) その他埋蔵文化財保護に必要な事業に関すること。

(組織)

第 3 条 埋蔵文化財センターに、次の課を置く。

総務課
調査課
普及資料課

(分掌事務)

第 4 条 前条に規定する各課の分掌事務は、次のとおりとする。

総務課

(1) 職員の人事、給与及び服務に関すること。
(2) 予算の執行及び決算に関すること。
(3) 文書の收受、発送及び保存に関すること。
(4) 公印の管守に関すること。
(5) 施設及び設備の管理に関すること。
(6) その他他の課の所管に属さない事項に関すること。

調査課

(1) 国、県関係事業に伴う埋蔵文化財の発掘調査に関すること。
(2) 東九州自動車道建設に伴う埋蔵文化財の発掘調査に関すること。
(3) 重要遺跡の発掘調査及び保護に関すること。
(4) 前 3 号の発掘調査に係る出土品その他の資料の整理に関すること。
(5) 第 1 号から第 3 号までの発掘調査に係る発掘調査報告書の作成等に関すること。

普及資料課

(1) 出土品の保存処理、修復、保存管理及び活用に関すること。
(2) 埋蔵文化財の調査研究に係る図書その他の資料の整備に関すること。
(3) 出土品その他の資料及び埋蔵文化財の調査研究に係る図書その他の資料（以下「資料等」という。）の貸出しに関すること。
(4) 埋蔵文化財関係者に対する専門的、技術的な研修及び指導に関すること。

(職及び職務)

第5条 埋蔵文化財センターに、次の表の左欄に掲げる職を置き、その職務は、それぞれ同表の右欄に掲げるとおりとする。

職	職務
所 長	所務を掌理し、所属職員を指揮監督する。
副 所 長 (2人)	所長を補佐し、所長に事故があるとき、又は所長が欠けたときは、その職務を代行する。
課 長	上司の命を受けて、課に属する事務を処理する。
専門主事	上司の命を受けて、専門的知識及び経験を必要とする事務に従事する。
主任主事	上司の命を受けて、複雑な事務に従事する。
主 事	上司の命を受けて、事務に従事する。

2 前項に規定する副所長の職務の担当区分は、1人を統括とし、他を業務担当とする。

3 第1項の規定により副所長が所長の職務を代行する順序は、次のとおりとする。

第1順位 統括の副所長

第2順位 業務担当の副所長

4 第1項に規定する職のほか、埋蔵文化財センターに、必要に応じ、次の表の左欄に掲げる職を置き、その職務は、それぞれ同表の右欄に掲げるとおりとする。

職	職務
副 参 事	上司の命を受けて、埋蔵文化財センターの特定の事務を掌理する。
主 幹	上司の命を受けて、埋蔵文化財センターの特定の事務を掌理する。
専門主幹	上司の命を受けて、専門的知識及び経験を必要とする埋蔵文化財センターの特定の事務を掌理する。
副 主 幹	上司の命を受けて、その相当高度の専門的業務に従事し、又は埋蔵文化財センターの特定の事務を掌理する。
主 査	上司の命を受けて、専門的業務に従事する。

(その他の職)

第6条 前条に規定する職のほか、埋蔵文化財センターに必要に応じ、技術員を置く。

2 技術員は、上司の命を受けて、技能又は労務に従事する。

(開館時間等)

第7条 埋蔵文化財センターの開館時間は、午前9時から午後5時までとする。

2 埋蔵文化財センターの入館時間は、午前9時から午後4時30分までとする。

(休館日)

第8条 埋蔵文化財センターの休館日は、次のとおりとする。

区 分	休 館 日
宮崎県埋蔵文化財センター	1 土曜日及び日曜日 2 国民の祝日に関する法律（昭和23年法律第178号）に規定する休日（以下「休日」という。） 3 1月1日から1月4日まで及び12月28日から12月31日まで（休日を除く。） 4 特別整理期間（あらかじめ所長が定めて公示する期間をいう。以下同じ。）
宮崎県埋蔵文化財センター 分館	1 月曜日（休日に当たるときを除く。） 2 休日の翌日（土曜日、日曜日又は休日に当たるときを除く。） 3 1月1日から1月4日まで及び12月28日から12月31日まで 4 特別整理期間

2 所長は、必要があると認めるときは、前項の規定にかかわらず、臨時に同項に定める休館日に開館し、又は同項に定める休館日以外の日に休館することができる。

(入館の制限等)

第9条 所長は、埋蔵文化財センターを利用しようとする者が次の各号のいずれかに該当するときは、その入館を制限し、若しくは退館を命じ、又はその利用を中止させることができる。

(1) 公の秩序又は善良の風俗を乱すおそれがあると認められるとき。

(2) 施設、設備、備品等を損傷し、又は滅失するおそれがあると認められるとき。

(3) 所長が指定する場所以外において喫煙又は飲食をしたとき。

(4) 条例若しくは規則又は所長の指示に従わないとき。

(5) 前各号に掲げる場合のほか、埋蔵文化財センターの管理運営上支障があると認められるとき。

(資料等の館内利用)

第10条 館内において資料等を利用しようとする者は、資料等館内利用承認申請書（別記様式第1号）を所長に提出して、所長の承認を受けなければならない。

(資料等の館外貸出し)

第 11 条 次に掲げるものは、資料等の館外貸出しを受けることができる。

- (1) 国立の博物館、博物館法（昭和 26 年法律第 285 号）第 2 条第 1 項に規定する博物館及び同法第 29 条の規定により文部科学大臣又は宮崎県教育委員会が博物館に相当する施設として指定したもの
 - (2) 社会教育法（昭和 24 年法律第 207 号）第 21 条に規定する公民館
 - (3) 学校教育法（昭和 22 年法律第 26 号）第 1 条に規定する学校
 - (4) 国又は地方公共団体の設置する教育又は文化に関する調査研究機関
 - (5) 市町村立の歴史民俗資料館等で宮崎県教育委員会教育長（以下「教育長」という。）が定めるもの
 - (6) その他教育長が適当と認めるもの
- 2 資料等の館外貸出しの期間は、30 日以内とする。ただし、所長が特に必要があると認めるときは、これを延長し、又は貸出しの期間中であっても、当該資料等の返還を求めることができる。
- 3 資料等の館外貸出しを受けようとする者は、資料等館外貸出承認申請書（別記様式第 2 号）を所長に提出し、所長の承認を受けなければならない。
- 4 所長は、出土品その他の資料について前項の承認をしようとするときは、次の事項を確認しなければならない。
- (1) 貸出しを受ける目的が当該出土品その他の資料の保存及び活用にとって適切であること。
 - (2) 当該出土品その他の資料の保管、展示等を適切に行うための施設及び設備が整備されていること。
 - (3) 貸出しの期間中当該出土品その他の資料が適切な知識、技能を持つ者に取り扱われること。

(弁償)

第 12 条 入館者、館内利用者又は資料等の館外貸出しを受けた者は、資料等、設備又は備品を亡失し、破損し、又は汚損したときは、所長の指示に従い、その修理又は損害の賠償をしなければならない。

(委任)

第 13 条 この規則に定めるもののほか、埋蔵文化財センターの管理運営に関し必要な事項は、別に定める。

附 則

(施行期日)

- 1 この規則は、平成 8 年 4 月 1 日から施行する。
(宮崎県総合博物館管理運営規則の一部改正)
 - 2 宮崎県総合博物館管理運営規則（昭和 46 年宮崎県教育委員会規則第 4 号）の一部を次のように改正する。
(次のよう略)
- 附 則（平成 12 年 1 月 20 日教育委員会規則第 1 号）
この規則は、平成 12 年 1 月 20 日から施行する。
- 附 則（平成 12 年 3 月 31 日教育委員会規則第 8 号）
この規則は、平成 12 年 4 月 1 日から施行する。
- 附 則（平成 12 年 12 月 18 日教育委員会規則第 21 号抄）
(施行期日)
- 1 この規則は、平成 13 年 1 月 6 日から施行する。
- 附 則（平成 18 年 3 月 30 日教育委員会規則第 9 号）
この規則は、平成 18 年 4 月 1 日から施行する。
- 附 則（平成 19 年 3 月 30 日教育委員会規則第 3 号）
この規則は、平成 19 年 4 月 1 日から施行する。
- 附 則（平成 20 年 3 月 31 日教育委員会規則第 6 号）
この規則は、平成 20 年 4 月 1 日から施行する。
- 附 則（平成 26 年 3 月 27 日教育委員会規則第 2 号）
この規則は、平成 26 年 4 月 1 日から施行する。

別記

様式第 1 号

第 10 条関係)

様式第 2 号

(第 11 条関係)

資料等館内利用承認申請書

年 月 日

宮崎県埋蔵文化財センター所長 殿

住 所
申請者 氏 名
電話番号

〔法人にあつては主たる事務所の所在地、
名称及び電話番号並びに代表者の氏名〕

資料等の館内利用をしたいので、宮崎県埋蔵文化財センター管理規則第10条の規定により、次のとおり申請します。

館内利用の目的			
資料等の名称	形 状	数 量	備 考

資料等館外貸出承認申請書

年 月 日

宮崎県埋蔵文化財センター所長 殿

住 所
申請者 氏 名
電話番号

〔法人にあつては主たる事務所の所在地、
名称及び電話番号並びに代表者の氏名〕

資料等の館外貸出を受けたいので、宮崎県埋蔵文化財センター管理規則第11条第3項の規定により、次のとおり申請します。

館外貸出の目的			
資料等の名称	形 状	数 量	備 考
館外貸出期間	年 月 日から 年 月 日まで		

案内図

宮崎県埋蔵文化財センター

所在地 〒880-0212
宮崎県宮崎市佐土原町下那珂 4019

TEL 0985-36-1171 (代表・総務課)
0985-36-1172 (調査課)

FAX 0985-72-0660

ホームページ <http://www.miyazaki-archive.jp/maibun/>

E-mail maizobunkazai-c@pref.miyazaki.lg.jp

アクセス
公共機関：JR 佐土原駅から車で 10 分
宮崎市街地から高鍋町方面宮崎交通バス
御殿下バス停 から徒歩で 8 分



宮崎県埋蔵文化財センター分館

所在地 〒880-0053
宮崎県宮崎市神宮 2 丁目 4-4

TEL 0985-21-1600 (普及資料課)

FAX 0985-26-2634

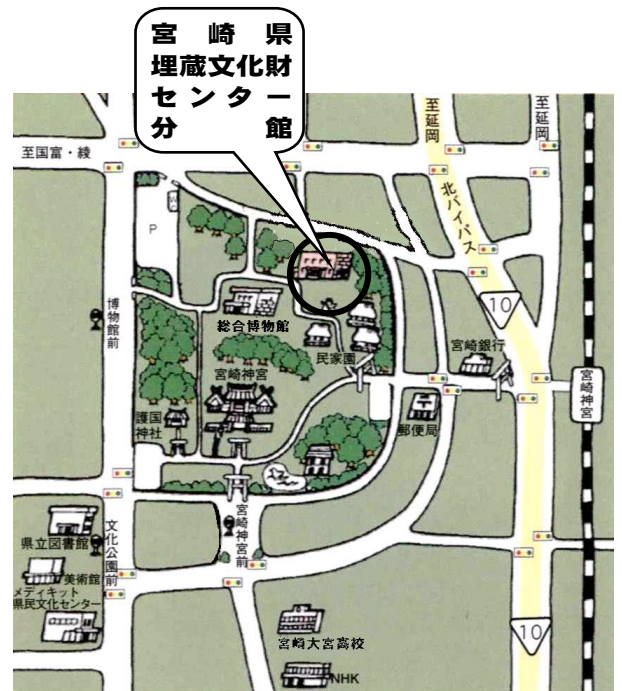
観覧時間 午前 9 時～午後 5 時
(入館は午後 4 時 30 分まで)

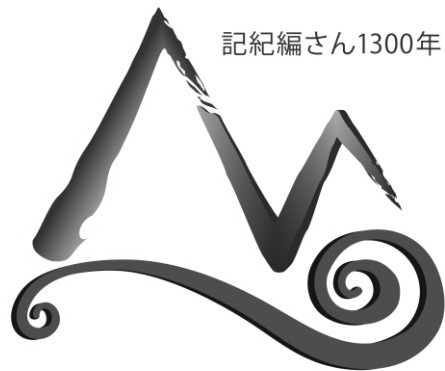
休館日 年末年始 (12 月 28 日～1 月 4 日)
特別整理期間

入館料 無料

E-mail maibun-fukyu@pref.miyazaki.lg.jp

アクセス
公共機関：JR 宮崎神宮駅から徒歩で 10 分
綾・国富・平和が丘行き宮崎交通バス
博物館前バス停から徒歩で 2 分





記紀編さん1300年

交差する歴史と神話
みやざき発掘100年

宮崎県埋蔵文化財センター

〒880-0212 宮崎市佐土原町下那珂 4019 番地

T E L 0985-36-1171・1172 F A X 0985-72-0660

E - mail maizobunkazai-c@pref.miyazaki.lg.jp